

ピカソってどんな人

1881:(0歳) スペイン南部マラガに生まれる。

ピカソの
フルネームは
とても長い!

パブロ・ディエゴ・ホセ、
フランシスコ・デ・パウロ、ファン・ネポムセーノ、
マリア・デ・ロス・レメディオス、クリスピン、
クリスピアーノ・デ・ラ・サンティシマ、
トリニダド、ルイス、イ・ピカソ だす!



1897:(16歳) サン・フェルナンド王立アカデミーに入学。

1901:(20歳) ヴォラール画廊でパリにおける最初の個展を開く。

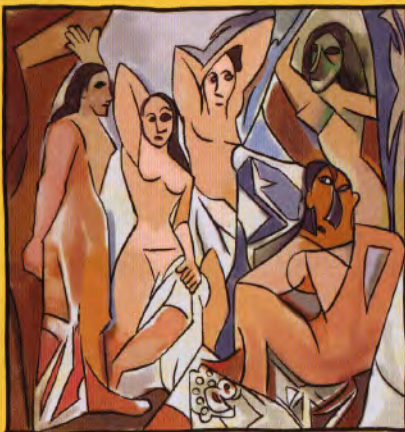


1904:(23歳) モンマルトルのアパート「洗濯船」に居を構える。



色彩が戻り「バラ色の時代」へ

1907:(26歳) 『アヴィニョンの娘たち』を制作。キュビズムへ回かう。



1918:(37歳) オルカと結婚。

写実性を取り戻し、新古典主義の時代へ



1921:(40歳) 息子ポール誕生。

1927:(46歳) 17歳のマリー＝テレーズと知り合う。

1932:(51歳) ショルレジュ・アテネ画廊でピカソ展が開かれる。

1934:(53歳) 8月末から最後のスペイン旅行。

1935:(54歳) オルカと別居。娘マヤ誕生。

1936:(55歳) スペイン内戦勃発。

1937:(56歳)

1911万博のスペイン・パビリオンで『ゲルニカ』公開。



1939:(58歳) ニューヨーク近代美術館で「ピカソ芸術の40年展」開催。

1946:(65歳) フランソワーズ・ジローと同居。陶芸の町ヴァロリスを訪れ陶芸の作品を作り始める。

1947:(66歳) 息子クロードが生まれる。

1949:(68歳) 娘パロマ誕生。

1950:(69歳) レーニン平和賞を受賞。

1953:(72歳) ジャクリーヌ・ロックと知り合う。

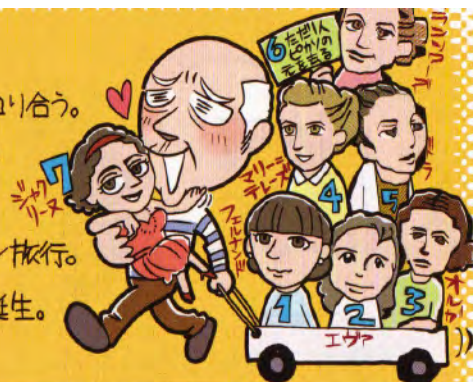
1955:(74歳) カンヌの「ラ・カリフォルニー」荘購入。

1961 (80歳) ヴァロリスでジャクリーヌと結婚。

1963:(82歳) バルセロナにピカソ美術館が開館。

1967:(86歳) テイト・ギャラリーでピカソの陶芸および彫刻の展覧会が開かれる。

1973:(91歳) ムージャンにて死去。ヴァールナルガ城に埋葬される。



顔



ピカソワークシート

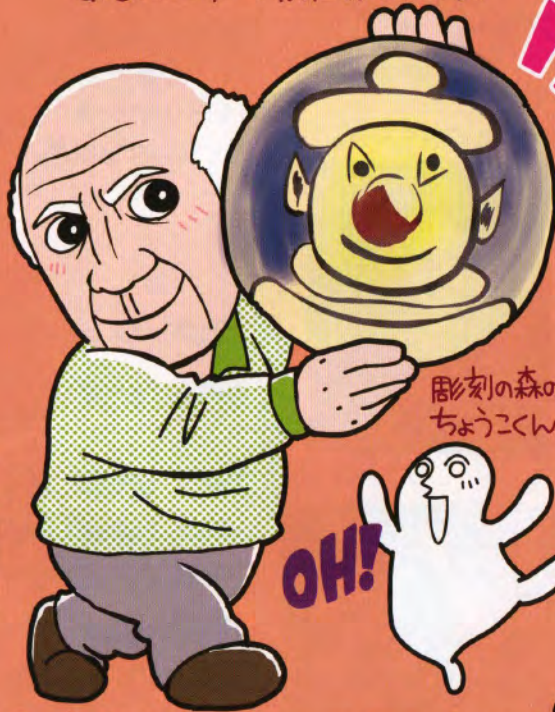
ピカソは65才を過ぎてから陶芸に熱中しました。本当にたくさんの作品を作りましたが、どんな作品があるのか、テーマ別に見てみよう!

人間をテーマにしたピカソは、丸いお皿の形から連想したものは「顔」でした。太陽の顔、山羊の顔、牧神の顔、ミタウロスの顔、男の顔、女の顔…。みんな陽気な顔たちです。陶芸を心から楽しんでいたのでね。

鳥・魚 動物



幼少期のピカソが父を驚かせた初めてのデッサンも鳩でした。港町に暮らすピカソにとって、目の前を泳いだり、食卓にならぶ魚も格好のモチーフ。自分が食べた魚の骨をお皿におしつけて作品を作ったりもしていますよ。



◎陶芸作品には3つの種類があるよ!

- ① 皿や壺に絵付けしたもの
- ② ピカソ自身がひねって作ったかたちに絵付けしたもの
- ③ 陶画や陶板画といったかたちで表現された装飾的なもの



闘牛

スペインといえば闘牛。ピカソも小さい頃から親しみ、晩年まで闘牛モチーフとした作品を数多く制作。



神話



神話のキャラクターも登場! フェウス(半人半獣の牧神)、ケンタウロス(半人半馬)、ミタウロス(半人半牛)の怪物などなど!